美人画研究会 活動報告

第26回 2021年2月28日 **<浜松町会場/アカデミックタイプ>**

コロナ禍の緊急事態宣言中であるため、Zoomによるオン ライン併用の開催でした。まず主宰者の畑江麻里さんが「浮世 絵美人からアニメへ | の第一弾として、浮世絵師によって美人 の描き方が異なることを紹介し、明治時代に多くの「美少女」 を題材にした雑誌が刊行されたこと、現代のアニメの美少女 は浮世絵美人に通じている点などを話されました。

次に似顔絵チャンピオン・CGアーティストの斎藤忍氏が、 絵を描く立場から浮世絵とアニメについて話されました。その 共通点を西洋画との描き方の違いから説明され、デフォルメ の魅力についても似顔絵・西洋画・浮世絵(写楽)から例を 挙げて解説されました。また、浮世絵が題材のアニメ作品も 多数紹介されました。



休憩をはさみ後半には、畑江さんの大先輩である映画監督 山崎達爾氏がご登壇され、正体のつかめない浮世絵師・写楽 を描いた映画『宮城野』の制作秘話やご自身の経歴などをお話 しくださいました。写楽は江戸時代中期の浮世絵師で、役者絵 で大人気を博した後突然姿を消したので正体が謎となっていて、 能役者の斎藤十郎兵衛説が有力となっています。

その後の浮世絵鑑賞会では、現代の浮世絵彫師・朝香元晴氏 の作品を写楽や美人画を中心に並べていただき、畑江さんの 解説で鑑賞しました。

第27回 2021年11月28日 **<森下会場/クリエイティブタイプ>**

リアル開催を見合わせていたため9ヶ月ぶりの開催でした。 発表内容や描画テーマについてレギュラーメンバーと事前に Zoomやメールで打ち合わせをし、絵を描かない参加者も 楽しめる会を目指しました。

発表・紹介コーナーで、まず私・松永伸子が師事している 画家の村田旭先生を紹介しました。先生は水彩+パステルの 混合技法で油彩に負けない絵画を描き、ヨーロッパなどの個展 でも人気の作家です。ジーザスパステルという独自で開発





された画材や作品を紹介しました。

次に畑江麻里さんが、最近訪問したSOMPO美術館の川瀬 巴水展、岡山県の竹久夢二郷土美術館・生家記念館・少年山荘 を紹介されました。巴水は鏑木清方門下の美人画画家でしたが、 30代で一転新版画デビューし、情緒的な風景版画はアメリカ での展覧会の成功で多くのファンを獲得しました。

その後、当研究会で美人画の技術を磨き活躍されている有望 クリエイターの河合直樹氏と井手晴海氏のお二人に、最近出品 した展覧会作品を紹介していただきました。河合さんは2年前 より公募展の日象展や独立展に出品され、新人賞獲得や連続 入選を果たしています。水で溶ける油彩DUOを使用して独自 のテーマに沿って描かれた作品は、テーマを表象する様々な モチーフが散りばめられ、謎解きの楽しさがあります。井手 さんは舞妓さんや和服の女性を繊細な色鉛筆で描く美人画で 個展の準備中ですが、「アートフェスタin渋谷 | 「漫画家たちの アート展」などの展覧会で作品を販売されました。作品をお嫁 入りさせる嬉しさと手放す寂しさという複雑な心境や、絵に 込めた自分の想いを話されました。

休憩をはさみ後半は作品提示と討論コーナーです。今回は 『かわいい』をスパイスに描く美人画というテーマで、クリエ イターは自身の作品を提示、レビュアーはその作品を見た印象 や感想を話す、という形式で行いました。今回作品を持参さ れたクリエイターは9人、レビュアーは5人(+クリエイター も参加)で、様々な『かわいい』表現が発見できました。



詳細は「美人画研究会ホームページ」に掲載していますので、











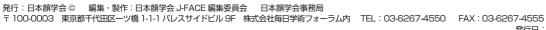












発行日:2022年1月12日 *無断転載を禁じます。

NEWSLETTER

12 JANUARY 2022 Vol. 77 https://www.jface.jp

Contents

P1~2. 第26回日本顔学会大会 (フォーラム顔学 2021) 開催報告

P3. 2021年度総会報告/顔学オンラインサロン報告 第26回~第30回/図書紹介

P4. 美人画研究会活動報告

26回日本顔学会大会(フォーラム顔学2021)開催報告



フォーラム顔学2021は当初オン サイトでの開催を目指して調整を進 めておりましたが、新型コロナウイル スの感染拡大状況を鑑み、昨年度に続 きオンラインにて開催致しました。開 催日は9月18日(土)、19日(日)で、 オンサイト開催の予定地であった立命 館大学大阪いばらきキャンパスに運営 本部を置きました。参加者数は183 人に上り、対面開催さながらに活発な 議論が交わされる大会となりました。



開会式

本大会大会長の北岡明佳先生に よる開会宣言、日本顔学会会長の 菅沼薫先生からの挨拶で大会がス タートしました。オンサイト開催



が叶わず残念ではありましたが、今年も皆様と一緒に顔学を 楽しみたいとお言葉をいただきました。

口頭発表

口頭発表はZoom Webinar形式で行い、23件の発表があ りました。1日目には「顔のアートとその理解」、「顔の画像 処理」、2日目には「顔の知覚と認知」、「顔の測定と工学」、 「顔の医学・形態・色彩」の5つのセッションで、活発な研究 発表が行われました。

本大会の演題で見られた新しい傾向として、近年の社会 ニーズを反映したものが多くなっていたように感じました。 例えば、美容分野では例年に比べ男性を対象とした発表が多 くありました。また、工学的アプローチが似顔絵や心理など を中心にこれまで以上に広く深く応用されている点が印象的 でした。

ポスター発表

ポスター発表はZoom Meetingsのブレイクアウトルーム 機能を使用し、各発表に対して一部屋を設けて行いました。 18件の発表がありました。

昨年度に比べ、発表者・聴講者ともにオンラインミーティ ングツールをうまく活用され、対面さながらのスムーズな議 論が繰り広げられていました。

作品展示

作品展示もポスター発表と同様にZoom Meetingsのブレイクアウトルーム機能を使用しました。4件の発表がありました。作品展示ではWebページ・SNSを活用した発表や、屋外の緑豊かな環境を効果的に利用した発表など、多彩な発表があり楽しくお話を聞かせていただきました。

■特別講演

さかさ絵本『まさかさかさま』で知られる、イラストレーター・トリックアーティストの伊藤文人先生にご講演いただきました。伊藤先生とさかさ絵の出会い、逆さ絵の魅力などついてお話しいただいた後、さかさ絵作成の裏側を実演を交えてご紹介いただきました。

講演後には聴講者の方から講演内容を参考に作成された作品が大会事務局に届いておりました。伊藤先生もコメントやアドバイスを返され、交流をお楽しみいただきました。





■シンポジウム講演

新学術領域『顔身体学』特別企画『象徴としての顔身体を考える』というタイトルで、山口真美先生、高橋康介先生、中村耕作先生、西井凉子先生からご講演いただきました。心理学、考古学、人類学という異なる視点から顔身体学についてお話しいただき、盛りだくさんなご講演となりました。フォーラム顔学2017でキックオフされた顔身体学の奥深さを感じさせられました。

■企業広告

本大会では3社の企業様がスポンサーとなってくださいました。動画やZoom Meetingsなどでプレゼンテーションや広告展示を実施いただきました。

イブニングシンポジウム

Spatial Chatというオンラインツールを使い、雰囲気の異なる中規模のパーティー会場を5つ開設して実施しました。 久しぶりに顔を見てたくさんの方とお話できた、非常に楽しいひと時を過ごせたとお言葉をいただきました。

原島賞・輿水賞

原島賞は昨今の生活スタイルを反映した山中七菜子さんの 調査研究「赤ちゃんはマスクの下の顔を顔として見ているの



原局員 山中七菜子さん



興水賞 橋本憲一郎さん

か」、輿水賞は工学的なアプローチを似顔絵に応用した橋本憲 一郎先生の「似顔絵を科学する II 一平均顔を用いた新たな試 み一」へ贈られました。

■オーディエンス賞

フォーラム顔学2020に続き、オンラインアンケートを活用して参加者投票によるオーディエンス賞を実施しました。 口頭発表部門では田島知之先生の「オランウータンの顔の発達とホルモン動態」、ポスター発表・作品展示部門では富田瑛智先生の「遠心・求心アイメイクによる両目間隔錯視と目の大きさ錯視」が受賞されました。

今回、授賞式直前まで発表セッションが行われていた関係上、受賞者へのご連絡が直前となってしまいました。ご迷惑をおかけした部分もあったかもしれませんが、その分受賞者の生の喜びの言葉をお聞きできたのではないかと思います。



口頭発表部門 田島知之さん



ポスター発表・作品展示部門 富田瑛智さん

■閉会式

本大会副大会長の陳延偉 先生から今回ご参加くださった皆様に対し御礼の挨拶 がありました。その後、運 営本部に詰めていた実行委



員の面々からも最後にお礼を伝えさせていただき、本大会は お開きとなりました。次回の大会では、ぜひ皆様と直接お会 いしてお礼をお伝えできればと期待しております。

(フォーラム顔学2021実行委員長 瀬尾 昌孝)



2021年度総会報告

2年連続のオンライン開催となったフォーラム顔学2021 初日の9月18日(土)に、2021年度日本顔学会総会が開催されました。

会長の菅沼さんの開会あいさつに続き、会計担当理事の金子さんから2020年度の決算報告が行われました。一般会計および特別会計(フォーラム顔学2020)の決算報告の説明の後、会計が適正に処理されている旨の会計監査報告が行われました。昨年度の決算報告は、昨年度と同様に「拍手ボタン」を参加の皆様に押していただくことで承認されました。

次に、菅沼さんから2022年度からの新役員構成の提案、および評議員会、学会誌編集委員会、ニューズレター編集委員の構成について報告が行われ、参加の皆様により承認されました。さらに、本年度の活動報告として、開催中のフォーラム顔学2021の概況のほか、イブニングセミナー、学会誌、ニューズレターなどの活動報告に続き、学会公認サークルの

若手交流会および美人画研究会の活動が紹介されました。 また、学会の財政赤字の現状と「学会運営のための貴重な 財源である会費の未納者増加がその一因」となっている旨の 報告・説明が行われ、更に学会運営の効率化に向けた「日本 顔学会学会誌等の電子化についてのアンケート」の結果速報 も紹介されました。

その後、菅沼さんから来年度開催のフォーラム顔学2022 (香川大学・林町キャンパスにて開催予定)を含む、学会活性化を目指した2022年度の活動計画が提案され、最後に金子さんより例年と同様の収入・支出の想定のもとに、2022年度の一般会計予算案が提示されました。これらの提案は参加の皆様により承認され、今年度の日本顔学会総会は予定された議事を滞りなく終了して閉会となりました。

(総務担当理事 今井 健雄)

顔学オンラインサロン報告 第26回~第30回

「顔学オンラインサロン」は学会の活動状況を会員のみならず広く一般の方々に知っていただこうと、Zoomを活用して毎月1回開催しています。

○第26回 8月10日(火)

話 題:顔の形の印象と表情を読む

~コンピュータを使って顔特徴を調べる~

話題提供者:電気通信大学名誉教授・日本顔学会理事

金子 正秀氏

○第27回 9月7日(火)

話 題:フォーラム顔学2021の見どころ!聴きどころ!

話題提供者:立命館大学教授・フォーラム顔学大会長

北岡 明佳氏

大阪工業大学准教授・フォーラム顔学実行委員長

瀬尾 昌孝氏 および実行委員

○第28回 10月12日(火)

話 題:似顔絵捜査を通して「顔」を考える

話題提供者:金沢工業大学教授 渡邊 伸行氏

○第29回 11月9日(火)

話 題:野生の仮面~社会的に変化するオランウータンの顔

話題提供者:京都大学宇宙総合学研究ユニット特定助教・

NPO法人日本オランウータンリサーチセンター理事

美貌のひと2

時空を超えて輝く

中野京子 著

田島知之氏

○第30回 12月14日(火)

話 題:場の雰囲気感知と「顔」の役目

話題提供者:インデアナ大学歯学部名誉教授

押田 良機氏

(城戸崎 雅崇)

図書紹介

目もとの上手なエイジング

眼瞼下垂から非手術的美容医療、 エイジング世代のメイクアップまで 大慈弥裕之 [ほか] 著



ISBN-10: 4865198067 ISBN-13: 978-4865198065

発 売:2021年10月 定 価:2,750円 発行所:全日本病院出版会

現代思想2021年11月号 特集=ルッキズムを考える 西倉実季 [ほか]



ISBN-10:4791714210 ISBN-13:978-4791714216

15BN-13:9/8-4/91/142 発売:2021年10月 定価:1,760円 発行所:青土社

美貌のひと 歴史に名を刻んだ顔 中野京子 著



ISBN-10:4569840760 ISBN-13:978-4569840765 発 売:2018年6月

発行所: PHP研究所

765

ISBN-10:4569850014 ISBN-13:978-4569850016 発 売:2021年8月

発 売:2021年8月 定 価:1,067円 発行所:PHP研究所

2

5